平成20年度実績事務事業評価シート (Aシート)

1 114 - 1 (Mekadike 1, 188) Later III A									. ,	作成日:	半成2	1年8月7日	
1	整理	番号		01-0	40104001-01	事業種別 -	-	般		事業態	様	継続	
車致車業々 5			谭+	境保全対策事業			区分	コード		名	称		
事務事業名		塚り	会計				1	一般会計					
		区分	Ì	コード	名	称	款	4	衛生費				
総合計		基本目	一一		ウヘ ウンム理座のナナ ざんり	項	1	保健衛生費	,				
	前期	本 平日	1示	5	安全・安心な環境のまちづくり		目	4	環境衛生費	,			
	基本	施策		1	環境保全・美化対策の推進		細目	1	環境保全対	策事業			
画	本	加	東 1	1	塚児休主·天化刈水	細々目		1	環境保全対	策事業			
体系	計画				環境保全対策の推進		枝番号						
211		基本事	上事業 1					事業の 法令等	☑ 有 □ 無	宮市環境基本条	例/本宮	市環境基本計画	Ī
	事業期間				単年度 🗸 単年	F度繰返し		間限定神	复数年度	(4	∓度 ~	年度)
事業概要 (事業のあらまし)		L)	環境保	全対策の企画・計画	策定等を行い、現	在及び将	来にわた	る良好かつ	快適な環境づく	りを図る	0		
	31 44			✓ 総合	合計画 前期基本計画	町主要事業		担	当部課等	生活福祉部		生活安全課	
		画等での 置付け		自自	主的財政健全化計画	基本計画・構想	• 新規事業	美 才	担当係	環境保全係	記入者	佐藤一彦	
	五百1710			平月	成20年度重点事業				一次評価者	(課長等名)	安田章	<u> </u>	

1 行動方針 (PLAN)

_	[130/04] (Line)								
事	対象 (誰を、何を)	市民、事業者、市内の自然環境等							
業	意図→目指す成果	・市民が良好な環境で暮らせる。		区分	指標名	単位			
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの	・環境負荷が低減され、良好な環境が保全されている。 ・市民、事業者、行政の協働の取り組みにより、環境へ配 慮した行動を定着させる。		成果	① 環境基準達成率	%			
	カゝ)			指標	2				
_	t. GR.	・本宮市環境基本計画に基づく施策の企画、進行管理等。・環境審議会の開催・各種普及啓発活動		区分	指標名	単位			
	F段 (事業の具体的な			活動	① 審議会開催回数	回			
P	7容、手順等)			指標	② 啓発活動回数	回			

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(決	快算)	平成21年度(決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円)	
	報酬	134					
	報償費	77					
	旅費	49					
直接事業費	需用費	13					
	負担金補助及び交付金	100					
	①事業費計	373	①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数 (年)	0.50	②人数(年)		&人数(年)		
	③平均人件費	8,608	③平均人件費		③平均人件費		
	$4=2\times3$	4, 304	$4 = 2 \times 3$		4=2×3		
総事業費 ①+④		4,677					
	国庫支出金						
	県支出金						
財源内訳	使用料及び手数料						
×1 1/1/1 14/7	地方債						
	その他						
	一般財源	4,677					

○事務事業の実績

	指標名		単位	単位 平成20年度 (実績)		平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	審議会開催回数	回	2	2	2	2
伯刬徂悰	2	啓発活動回数	旦	12	12	12	12

本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	① 環境基準達成率	%	100	100	100	100
八木 相保	2					

3 評価 (CHECK)

	【1次評価】								
		項	目	区 分		選択理由の説明	項目評価		
目的妥	1	意図が政策・ びついている		 結びつかない 結びついている	\Rightarrow	良好な環境を保全するために実施しており体系に 一致している。	✓ 適切✓ やや不適切		
女当性	2	市が行うべき き)事業か?	(関与すべ	✓ 行う必要がある☐ 行う必要がない	\Diamond	各主体が、協働していく取り組みであり関与は必 要。	□ 不適切		
有効	1	目的を達成す (実施方法)は		✓ 有効である☐ やや有効でない☐ 有効でない	\Rightarrow	多方面からの意見を聴取しながら進めており、有 効。	✓ 適切○ やや不適切○ 不適切		
郊性	2	成果指標の目標値の達成状 況は?		✓ 順調である○ やや順調でない○ 順調でない	\Rightarrow	良好に推移している。			
効率	1	るか?		✓ 得られている○ やや得られていない○ 得られていない	\Rightarrow	事業費、人員とも最小限で実施している。	✓ 適切		
性	2			✓ 実施されている○ やや実施されていない○ 実施されていない	\Rightarrow	事業の合理化、事務の簡素化と併せ人員も最低限 で実施している。			
公平性	1	受益者の負担 定の個人や団ないか?		✓ 馴染まない│ 適正である○ やや適正でない│ 適正でない	\Rightarrow	各主体が、それぞれの立場で協働していく取り組 みであり、いずれかに負担が偏ることはない。	□ 適切□ やや不適切□ 不適切		
[:	【2次評価】								
全体評価 意 見						意見			
	□ 適切 □ やや不適切 □ 不適切								

4 評価による行動 (ACTION)

		【1次評価】	【2次評価】			
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)		
2 0 年度	拡大・重点化手段等の見直し型現状継続廃止・休止完了・終了		拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了			
19年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		拡大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了			
18年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		拡大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了			